

巖 神 青

【内 容】

- ・ 第七回親子禊錬成会開催
- ・ 国旗小旗頒布活動
- ・ 第七回役員会開催
- ・ 東北六県禊錬成会参加
- ・ 復興支援活動
- ・ 関口神社餅つき助勢
- ・ 神武天皇二千六百年記念事業
- ・ 国家安寧祈願祭奉仕

第 7 回親子禊錬成会開催



八月十二日、遠野市の遠野郷八幡宮（多田頼申宮司）で親子禊錬成会を開催し、児童・保護者五十名を含む約七十名が参加した。

この錬成会は、子供たちが神社に触れ合う機会を提供し、今後の青少年育成環境の充実と教化活動の実践に資することを目的に開催。今年で七回目を数える。

午前九時四十五分、遠野郷八幡宮の多田頼申宮司を来賓に迎え参集殿にて開講式を執り行った後、拝殿に移動し正式参拝。修祓に続き菅原会長と児童代表が玉串を奉って拝礼した。





その後後集殿に移動し、多田常任委員と小保内副会長が「遠野物語の教訓」「ご先祖さまも神様」と題してそれぞれ講義。多田常任委員は遠野物語を、同物語に登場する河童に扮し紹介しつつ、遠野三山のお話では「兄弟仲良くすること」「負けるが勝ち」、マヨヒガのお話では「強欲を戒める」「良い友達を選ぶ」などの教訓が読み解けることを語りかけた。



小保内副会長は、参加者を「神様」と「参拝者」に分けて、神様はどのようなお願い事だと叶えてあげたくなるだろうと子供達に問いかけ、「神様ゲーム」として神様役の人にもうまい棒を配布し、どんなお願いだとうまい棒をもらうことが出来るか模擬参拝を実施。神様役から「知り合いが来ればあげたくない」等の感想を聞き、参加者は日常的に参拝し神様に挨拶することの大事さ等を学んでいた。



講義の後には同市の早瀬川で禊がおこなわれ、千葉常任委員の指導のもと鳥船行事などのち川に入り、思いの外冷たい水に悲鳴を上げながらも「心と体を綺麗にする！」と3度大声で叫び、立派に禊を執り行った。



例祭では流鏝馬も執り行われる広大な芝生の境内に、

その後遠野郷八幡宮境内で遠野名物のバケツジンギスカンを囲みながら会員お手製の焼きそばや焼きトウモロコシなどを堪能し、昼食後は境内で簡易的な綱渡りのスラックラインやフリスビーを用いたドッジボールのドッジビーなどのニュースポーツ、サッカー、綿菓子作り、スイカ割りなどのレクリエーションを満喫。

子供達の歓声が響き渡って
いた。



閉講式では菅原会長から
児童代表に修了証が手渡さ
れ、子供達は来年の再会を誓
って解散となった。

参加者からは「水が冷たか
ったけど頑張って禊をした」
「ジンギスカンが美味しか
った」「スラックラインが楽
しかった」といった声が聞か
れた。

国旗小旗頒布活動

六月二十日、二十一日の両
日にわたり、盛岡駅周辺なら
びに宮古市方面において、皇
太子同妃両殿奉迎活動とし
て国旗小旗の頒布を行った。



盛岡駅周辺では一七〇〇
本あまり、宮古方面では小本

津波防災センター・浄土ヶ浜
西口付近・浄土ヶ浜ビジター
センターにおいて八〇〇本
あまりの国旗小旗を頒布す
ることが出来、皇室尊厳護持
の一端を担うことが出来た
のは光栄の至りであった。

第七回役員会開催

六月二十七日、第七回役員
会が開催された。報告事項並
びに協議事項は以下の通り。

- ① 報告事項 1、田中真一
候補者支援活動の件 2、東日
本大震災復興支援活動 式年
祭及び御巡行奉仕活動の件
3、神武天皇二千六百年記念
事業 国家安寧祈願祭の件
4、東北六県神道青年協議会
禊錬成会の件 5、皇太子殿下
同妃殿下御奉迎活動の件 6、
神道青年全国協議会指名理

事出向報告の件 7、東日本
大震災復興支援記念植樹維
持活動の件

- ② 協議事項 1、上半期事
業計画について 2、東北六県
神道青年協議会親睦事業に
ついて 3、平成二十八年度親
子禊について 4、その他（各
委員会から）

懇親会は南大通の「dining
わかんたんか」で行われ、お
店自慢の料理や谷藤書記よ
り差し入れ頂いた馬刺しに
舌鼓を打ちながら参加者一
同大いに懇親を深め合った。



東北六県禊錬成会参加

六月十五日、十六日の両日に渡り、東北六県禊錬成会が福島県郡山市を会場に開催された。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から早くも五年が経過したものの、福島県においては原発事故の



影響により、未だ多数の人々が県の内外で避難生活を余儀なくされているなど、復旧・復興が遅々として進んでおらず、地域コミュニティの存続が喫緊の課題となつている。また放射能による健康影響等に対する不安を日々抱えており、とりわけ食品の安全性の問題、風評被害など過去に例

のない深刻な状況に悩まされている現状を鑑み、福島の復興へ向けての様々な取り組みを国政及び地方行政の視点から学び考える場とすることを目的とし開催されたもの。第一講は『真の政治主導 復興大臣六一七日〜新しい東北〜』と題し元復興大臣 衆議院議員 根本匠先生に、第二講の禊錬成行事道彦君島義範先生、福島県神社庁神道行法錬成行事助彦村上真也先生にそれぞれ講義賜り、第三講は『福島県産食品の安全を学ぶ』と題し福島県農業総合センターを見学した。懇親会に於いては福島の美味しいお酒を堪能しながら、六県一枚岩の団結力を発揮し大いに盛り上がった。



復興支援活動
関口神社餅つき助勢

七月二日、下閉伊郡山田町鎮座 関口神社（佐藤明徳宮司）に於いて例年行われている復興支援活動の餅つきに



助勢した。

午後〇時半に集合の後、氏子の皆様が蒸かした糯米を氏子、神青会員力を合わせ餅を搗き切り分け約百食分の胡麻餅を頒布した。また、午後一時半より行われた奥宮

の祭典へ参加させていただいた。

雨予報が出ていた為、天候が心配されていたが、餅つき中はもちこたえ、宵宮祭の祭典終了後に雨が降ってきたものの多くの参拝者にご来社頂き、活気のあるお祭りだと感じた。

神武天皇二千六百年記念事業
国家安寧祈願祭奉仕

本年、樫原の地で建国の礎を築かれた神武天皇が崩御されてより二千六百年を迎え、その節目となる本年六月八日、奈良県樫原市久米町鎮座、樫原神宮に於いて、「神武天皇二千六百年記念事業 国家安寧祈願祭」が斎行された。

当日は、前日の悪天候とは変わり天候にも恵まれ、樫原神宮宮司久保田昌孝様を齋主に、百名を超える全国の青年神職が集い、厳肅に祭典が斎行された。本県よりは藤原神道青年全国協議会理事と

菅原地区委員、小野寺事務局長が奉仕。国家の安寧を祈るとともに、神武天皇が建国された想いを護り伝えるべく、心を一つに祭典を奉仕した。



【編集後記】

この度の台風十号の犠牲になられました方に心よりのお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた方が一日も早くもとの穏やかな生活を取り戻すことが出来ますようお願い申し上げます。

それにしても今年は台風被害の多い年です。台風は地球の浄化活動だという論説を見たことがあります。それが正しいならば観測史上初という岩手県から上陸した台風は何を浄化しようとしたのでしょうか。その真意は到底分かりようもありませんが、ひたすらにその身を反省することが神道的生活でもあるはずで、常に慎みと敬意を以て生活したいものです。（宜）

発行所 岩手県神道青年会
住所 一関市釣山一九 八幡神社社務所内
電話・FAX 〇一九一—二二二—二九〇六